

令和 2 年度 卒業証書授与式 校長式辞

厳しい冬の寒さも日増しに和らぎ、校内の草木にも春の息吹が感じられるこのよき日に、令和 2 年度 島根県立瀬摩高等学校 総合学科として 24 期目になる卒業式を迎えることとなりました。本日も多用の中、ご臨席を賜りました PTA 会長 坂根 勉 様、松風会会長 大島 淳 様に卒業生の前途を祝福いただきますことを、心より御礼申し上げます。また、保護者の皆様、お子様の栄えある卒業を心よりお喜び申し上げます。

ただいま卒業証書を授与しました、80 名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまでの皆さんの努力と研鑽を心から讃えたいと思います。本日のこの喜びは卒業生の皆さんのたゆまぬ努力の結果であることは言うまでもありませんが、皆さんのことを絶えず気遣いながら支えてくださったご家族と周囲の方々の励ましのたまものであることを決して忘れてはいけません。この人生の節目に当たり、お世話になった方々へ素直に感謝の気持ちを伝えてもらいたいと思います。

令和 2 年度 卒業生の皆さんは特別な 1 年間を過ごしました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で 1 ヶ月を超える臨時休業。部活動では多くの大会が中止や延期、実施されても規模縮小となり、学校の教育活動も感染症対策を行いながらの教育実践や活動が求められました。これまでの 12 年間の学校生活の中でも経験したことのないような非常事態であった 1 年間でした。しかし、このような状況にあっても皆さんは、あきらめず前を向いて、皆で協力してよりよい学校生活を送ろうと頑張ってくれました。この皆さんの頑張りに、先生方から「この様なコロナ禍にあっても、生徒会長を中心に、できることはないか、こうしたらできるのではないかと工夫し、瀬摩高校を引っ張ってきてくれた今年の 3 年生に対し、最後に思い出に残るものを企画して送り出したい。」と声上がり、サプライズで計画し、準備してきました。それは『ハッピーフレンズ アカペラコンサート』という公演で、プロによる歌とダンスなどにより、体育館がまるで歌のテーマパークのような体感を得られるコンサートのようなものでした。

しかし、東京から来ていただくアカペラグループでしたので、東京都の緊急事態宣言が 3 月 7 日まで延長されたこともあり、この企画はやむを得ず中止することとしました。本来なら 2 月 26 日の金曜日に実施する予定でした。

このサプライズ企画は中止になったのですが、皆さんのためを思ってこの企画を行いたいと先生方から声上がり、実現に向けて準備してきたことは忘れないでほしいと思います。実現できていたら皆さんの思い出、記憶に残るコンサートになったのですが、先生方の皆さんに対する思いは受け止めて、こんなにも自分たちのことを考えてくれる先生方とともに過ごした 3 年間でこれからの宝にしてほしいと思います。

本校の校訓である「仁心」の精神なのですが、皆さんは在籍した 3 年間に先生方から受けたこの様な思いやりや励まし、支援に感謝し、この恩を他の人たちに返せるような人間になってほしいと願っています。感謝の心を表す「ありがとう」は幸せの始まりで、感謝の心を誰かのために役立てることがその人に対する恩返しになるということです。ぜひ、そんな優しさと思いやりのある社会人となり、将来この地域を担う、この地域を元気にする大人として活躍できるようさらに力をつけてください。私たち教職員はいつまでも応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆さまにはこの 3 年間、時には厳しく、時には優しくお子様を励まし、支えていただき、また、本校の教育活動に絶大なるご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げますとともに、深く敬意を表します。

私たち教職員は、一同卒業生の皆さんと保護者の皆様と 3 年間ここで過ごせたことに感謝しつつ、卒業生の皆さんの前途が洋々で、幸多きことを心から祈念し式辞といたします。

令和 3 年 3 月 1 日 島根県立瀬摩高等学校 校長 吉川 靖

多くの方から祝詞・祝電をいただきました。ありがとうございました。

